

【記入例】
(令和7年7月改定)

地方公務員等共済組合法施行規程第91条に基づき、組合員資格を取得する者は全員が提出する。
例外条件：退職日翌日に都共済の組合員資格が継続する場合（例：一般職員退職→再任用フルタイムに引続き任用等）

基本事項を全て記入する。
基礎年金番号が分からない場合は、住所地のある年金事務所に本人が問い合わせること。

年金加入期間等報告書

職員区分

一般・再任用・その他

採用年月日令和6年4月1日

フリガナ
組合員氏名
生年月日

キョウサイ イチロウ
共済 一郎
昭和・平成5年4月16日

組合員番号(8桁)
所属機関名
基礎年金番号(10桁)

87654321

〇〇局/〇〇区 〇〇部

0123456789

初めて基礎年金番号を取得する場合チェックする。→

*基礎年金番号空欄の理由
(右の口をチェックする)

□未付与(20歳未満、初回就職である。)
にの理由以外で番号不明の場合は年金事務所へ問い合わせること。)

過去の職歴に公務員歴がある場合は「①はい」にチェックし、『被保険者記録照会回答票』を提出する。(3)にもチェック。
公務員歴があるかどうか不明な場合は、先に『被保険者記録照会回答票』を入手して確認する。

1 公務員履歴等保有の報告

(1)過去の公務員履歴

☒①はい、あります。⇒(2)(3)へ

☐②いいえ、ありません。⇒(4)へ

過去に公務員履歴がありますか。
(どちらかにチェックする)

(確認)ここで「いいえ」と報告する場合、以下に同意したとみなします。
都共済で確認した結果、公務員前歴を保有することが判明した場合は、虚偽報告として扱い、これに関連する本人の一切の不利益について、都共済は責任を負いかねます。

(2)過去に加入した共済組合の報告と添付書類の提出

上記(1)で「①はい」を選択した場合は、過去に公務員として加入したことのある共済組合を全てチェックし、前歴確認のため以下の書類を添付してください。
過去に加入した組合にチェック

☐①国家公務員共済組合

☒②地方公務員共済組合

☐③公立学校共済組合東京支部(都職員異動)

添付の確認(本人がチェック)

(添付書類)日本年金機構発行「被保険者記録照会回答票」

*入手方法は欄外を参照。→

☒添付しました。

公立学校共済組合又は警察共済組合からの転入者は『被保険者記録照会回答票』の余白に支部名を追記する。

(3)共済組合からの年金(老齢又は障害)受給の有無

☒①はい、あります。*

☐②いいえ、ありません。

ただし、都共済からの年金受給者は、年金証書(原本)の提出は不要です。

(①の場合:添付書類)「年金受給権者再就職届(公務員用)」及び「年金証書(原本)」

→

☒添付しました。

添付の確認(本人がチェック)

*65歳未満で特別支給の老齢厚生年金の受給権が発生したが未請求の場合、繰下げ待機中の場合を含む。前者の場合は、前共済へ年金を請求してください。

過去の職歴に公務員歴が無い場合は(1)で「②いいえ」にチェックし、(4)から下の部分を記入する。
(2の記入に代えて『被保険者記録照会回答票』提出でも構わない。)

(4)過去に公務員履歴が無い場合

上記(1)で「②いいえ」を選択した場合は、以下の口を記載。または(2)の添付書類を添付してください。
(どちらかにチェックする)

☒①以下、2を記載(自書)する。

☐②被保険者記録照会回答票を添付する

いずれかにチェック

添付の確認(本人がチェック)

*用紙が不足する場合はこの用紙をコピーして使用する。

*加入歴が4件以上ある場合はこちらを推奨します。

☒添付しました。

2 他の公的年金加入期間の報告

20歳以降(または20歳未満で職歴のある場合)最初の加入年金から現在までを順を追って記入してください。(公務員履歴を保有する場合は上記1(2)のとおり。)
年金制度の加入は個人単位である。医療保険制度の被扶養者等と混同しないよう注意すること。(例:医療保険→被扶養者の場合の加入年金制度→国民年金)

年	加入年金制度 (アヘエの一つに○印・必須) (※年金加入状況はエに○印)	加入年月日 (資格取得日・就職日等)	退職/喪失年月日	在学先・勤務先名称 (「〇〇大学・〇〇株式会社」等)	加入団体名称 (ア国民年金の場合、記入不要) (イクエの場合「〇〇健康保険組合」等)
金	ア 国民年金			(国民年金の事例) 〇〇大学(学生納付特例) フリーター、パート、アルバイト 自営業、被扶養配偶者 〇〇市役所非常勤職員	「ア国民年金」の場合、 記入不要
	イ 第一号厚生年金	昭和 平成25年4月15日	昭和 平成3年3月31日		
	ウ 第四号厚生年金(私学共済)	令和	令和		
加	エ その他				
	ア 国民年金			(厚生年金の事例) 〇〇株式会社	(厚生年金の事例) 〇〇健康保険組合
	イ 第一号厚生年金	昭和 平成3年8月1日	昭和 平成6年2月28日		
入	ウ 第四号厚生年金(私学共済)	令和	令和		
	エ その他				
	ア 国民年金				
期					
間					

基礎年金番号取得日から都共済資格取得前までの加入制度を順を追って記入する。日付が不明な場合は『被保険者記録照会回答票』を取得し確認する。
履歴が4件以上ある場合は、この用紙をコピーして使用するか、『被保険者記録照会回答票』を提出し記入に代えることができる。

3 該当期間の報告

以下の条件に該当する場合は[あり]にチェックし、該当しない場合は何も記入しないでください

期間	該当	開始日	終了日
離婚時みなし被保険者期間	☐ あり	昭和・平・令 年 月 日	昭和・平・令 年 月 日
被扶養配偶者みなし被保険者期間	☐ あり	昭和・平・令 年 月 日	昭和・平・令 年 月 日

離婚等による年金の分割が決定している者のみ記入します。それ以外の場合は記入しないでください。
いずれかの共済組合から改定通知書を受け取っている場合は、その共済組合名を余白に記載してください。

地方公務員共済組合法施行規程第91条に基づき、私の年金加入期間等は上記のとおりであることを報告します。

東京都職員共済組合理事長 殿

郵便物が届く住所を記入
(他の提出物と異なっても良い。転居予定者は転居後の住所可)

住人本人自署の場合、押印不要。
ゴム印又は入力で作成した場合は本人印が必要。

令和6年4月1日

組合員

氏名 共済 一郎

印

本人が記入した日付を和暦で記入
作用日前の日付でも良い。

※自筆であれば押印は不要

記入上の注意(記入例は略)

最新の様式を使用すること。

令和6年7月改定